

Family News Evening

くらし

古着寄付でワクチン支援



▲不要になった衣類などを「古着deワクチン」の専用袋に入れて宅配で送る

アディダスジャパンの店舗にある使用済み衣類などの回収箱「コレクターズ・ボックス」(都内)に設置。製造元は問わない。

社会貢献やリサイクル

都内に住む女性会社員の物もあり、捨てるに時間が割くようになった。不要な洋服がかなりの数あつたが、まだきれいな状態

回収サービス活用

新型コロナウイルス感染拡大で在宅時間が増えたのに伴い、衣類などの整理を考えている人も多いのではないだろうか。だが、単に捨てるのはもったいない。古着を寄付して途上国の子ども支援やリサイクルにつなげるなど、有意義な「断捨離」の方法を探してみた。

(50)は緊急事態宣言以降、自宅にいる時間が増えたこと

「古着deワクチン」という回収サービス。同サービスのサイト(<http://furugidevaccine.ets.jp>)上では30円を支払うと、専用の回収袋が自宅に送られてくる。この袋に衣類、靴、バッグなどを入れて送り返す

たのが、「古着deワクチン」という回収サービス。同サービスのサイト(<http://furugidevaccine.ets.jp>)上では30円を支払うと、専用の回収袋が自宅に送られてくる。この袋に衣類、靴、バッグなどを入れて送り返す

代金のうち南西アジア、アフリカなどで流行している病気ボリオのワクチン代金は良いので、海外で貢献にもなるのでうれしい」と満足げ。運営する日本リユースシステム(同)

とを機に家の中の片付けに時間を割くようになった。不要な洋服がかなりの数あつたが、まだきれいな状態

しっかりと足のサイズを測り、店頭でじっくり試着をしたにもかかわらず、痛くなってしまうことがあります。一日のうちに家を出たときは快適だったのに、駅に着く頃にはパンプスがまるで伸びてしまったようです。まずは「生理周期」。ホルモンの影響で体が大きくなり、履いてきたことを後悔したことや、靴帯が緩んだりします。

そんな「この靴もダメだたが…」と落ち込みそうな場合に備え、知つておいてほし

いことがあります。そ

れは、女性の足は想像以上に変化するとい

うこと。

理由は主に七つで

あります。

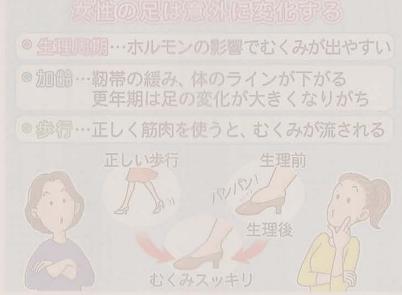
ます。

ます。

履けるよ!パンプス

知つておきたい足と靴の関係

大きさ変化自分で調整



イラスト・林ユミコ

「気温」と「湿度」という自然条件も影響します。発汗が必要になります。

夏は体表面積が微妙に大きくなるので足は大きくなります。

ですが、靴のサイズも

ミリ単位で決まります。

以上、影響は否定で

ますが、靴のサイズも

ミリ単位で決まります。

ですが、靴のサイズも

ミリ単位で決まります。

ですが